

臨床分離アニサキス虫体の解析によるアニサキス症発症・重症化要因の検討

・はじめに

アニサキス症は、アニサキス科線虫の幼虫による寄生虫疾患です。サバ、アジ、サケなどの海産魚介類にはアニサキス幼虫が高率に寄生し、ヒトが生食やそれに近い形で食べて感染・発症します。大部分は胃アニサキス症で、激しい胃痛（心窩部痛）と悪心・嘔吐がおこり、内視鏡検査で胃粘膜に穿入しているアニサキス幼虫が確認されます。激症例では類似の症状を示す他の病気との鑑別が難しく、的確な診断が受けられずに開腹手術を受ける事もあります。治療は内視鏡で穿入した幼虫を取り除くしかありません。日本で比較的良好に経験する重要な疾患で、今後も増加が懸念されています。

今回、私たちは内視鏡検査により摘出されたアニサキス幼虫の虫種や遺伝情報を、臨床情報と総合的に解析して、アニサキス症を引き起こしたり重症化させる要因について調べ、新たな治療法・予防法の可能性を探ります。

・対象

平成 24 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までに大阪警察病院内科・内視鏡センターで内視鏡検査を受けられた方のうち、アニサキス幼虫が分離された約 20 名を対象に致します。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

内視鏡によって摘出されたアニサキス幼虫を使って、種および同胞種を明らかにし、さらに幼虫の遺伝的背景を調べます。このアニサキス幼虫の検査結果と患者さんの背景を比較し、アニサキス症の発症・重症化に何がどう関わっているのか、考察します。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、大阪警察病院内科・内視鏡センターにおいて個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの

厳格な対策を取り、第三者が個人情報を読覧することができないようにします。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より平成29年3月31日までです。

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果はアニサキス症の発症機序の解明及び新しい治療法の発見の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野

教授 藤本 秀士（責任者）

講師 小島 夫美子

連絡先：〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

Tel：092-642-6732 藤本 秀士

大阪警察病院 内科・内視鏡センター

副部長 岡田 章良

連絡先：〒543-0035 大阪府大阪市天王寺区北山町 10-31

Tel：06-6771-6051